



No. 113

ティー・ブレイク

## Tea Break

x / 711

最近、スランプの脱出方法についての質問を受けたが、実際問題として、スランプの脱出方法というのは、大きく分けて2つしかないと思う。ひとつは即効性のある方法で、もうひとつは即効性はないが、その人の人生にとって極めて有益な方法である。ここで、私が考えるスランプ脱出方法というのを述べる前に、なぜスランプに陥るのかということを考えてみたい。人はなぜスランプに陥るのか？ それは「向上心」を持っているからである。向上心により、今より良くしようと思って努力をすることになるわけだが、自分の成長が追いつかない。すると、壁にぶち当たり、その結果としてエラーが頻出することになる。そうして、ミスばかりが続くようになると、生きていくのがだんだん嫌になってくる。ということで、これがいわゆるスランプ状態というものである。

このようなわけであるから、スランプを脱出する方法として、最も効果的かつ速効性のある方法は、それは、向上心を持つのをやめて「夢を諦めてしまう」ことである。そうすれば、スランプに陥る原因の根本的なものがなくなるわけであるから、たちどころにスランプも消えてしまう。(勿論これによって夢も消えてしまうことになるのであるが。)

もうひとつの方法は、とにかく試行錯誤を繰り返して成長し、その壁をぶち破ることである。これは非常に時間のかかることもあり、辛い作業でもあるが、これはやる価値のあることである。こうして壁をぶち破った後に、またひとつ夢に近づくことになるのである。

ところが、見方を変えると、このスランプというのは、実は非常にありがたいもので、「今の自分において、現時点での課題を解決するために必要な、しかるべき部分の実力が欠如している」という有益な情報を伝えて来てくれているのである。だから、スランプに陥ったときこそ、状況を精密に分析し、何が足りないのか、そしてまた何が自分の欠点であるのか、ということについて詳しく分析をする必要があり、またその良い機会が与えられていると思えばよい。

ところで、今私がこんなことを言うと、「いや他にも方法はある」と言う人がいると思う。それはもっともなことで、この他にも「人に相談して解決を図る」というような方法があり、そしてこれは、スランプ解決法の決定打として、多くの本に紹介されていることでもある。

しかしながら、「誰かに相談して解決できる」というような悩みは、要するにその悩みを持ったのが「二番煎じである」ということを意味する。例えば、課長になった人が、そのストレスからスランプに陥ったときに、部長に相談することによって解決した、というのは、それは要するに、その相談に乗った部長はかつて課長だったことがあるからである。

であるから、少なくともトップランナーを目指す人が「誰かに気軽に相談することができる」というような状況に浸ってしまうというのは、これは結構な問題である。トップランナーというのは、要するに前に誰もいないのであるから、相談する人などいない。言ってしまうと、友人などもないはずである。だからこそ、「今まで誰もやったことがない、偉業を成し遂げる」というようなことを考えた場合には、少なくとも「困ったときには安易に人に相談する」という習慣を身に付けてはいけないのである。むしろ、人に相談せずとも、自ら工夫し、考え、独創し、そして自らの力で未来を切り開いていく、という生活に慣れてしまうぐらいのほうが良い。

ところで、今年も弁理士試験が無事に終了し、700名以上もの方々(711人)が合格したが、その中でもひとかどの人間になりたいと思うのであれば、受験時代に身に付いてしまった「他人からの情報をうまく利用して早く結果を手に入れる」といった習慣(特に短期合格者に顕著な習慣)は早めに卒業したほうが良い。

変な祝辞ではあるが、まだ直接お祝いを申し上げていない合格者の方々へ、このコラムをもって私からの祝福としたいと思う。

(正)